

# Rumour Has It In Chichester

No. 11-3  
Fri. 18 Feb. 2011

## 授業開始



前日のオリエンテーションが終わり、さっそく授業が始まりました。突然、世界各国の学生たちがいるクラスに放り込まれた彼らは驚き、楽しみ、苦しみなど様々な感情に襲われたようです。ここイギリスはアメリカと違い、地理的に近いスペイン、イタリア、中東系の学生が多く学びに来ており、日本からの学生たちには、その彼らと触れ合うことで大きな刺激を受けることと思います。

教室の外の通路の壁一面にも、各国の言葉でイギリスでの生活について（恐らく？）の情報が書かれています。まだ始まったばかりですが、少し慣れてきたら、英語のみならず、いろんな文化にも触れてほしいと思っています。

## Visit to Brighton



昨日、授業が始まり、本日は午前中の授業を終え、いざ Brighton へ。ここチチェスターからは、バスで一時間半ほどにある Brighton はイギリスでは有数の観光スポットであり、地元のイギリス人も多く集まる街です。着いてみると一目瞭然、活気が違います。その活気にのまれると左の写真のようになってしまいます。海岸沿いの Brighton ピアから店が広がり、Lane という原宿の竹下道りのような道り沿いに雑貨屋、アンティークショップ、靴屋、帽子屋などの様々な店が軒を連ねています。ちなみに私は古本屋巡りをしました。買った本が次の店ではもっと安く売っていて、参りましたが、これもつきものですね。

## 「食べる、食べる」

食事に関してはあまり評判のよろしくないイギリスですが、学生たちはしっかり食べています。朝は、ホストファミリーの家でとり、午前中の授業が終わる 12時半過ぎには、「腹へったー」とカフェテリアに移動してきます。バーガー、サンドイッチ、ホットドッグ、ピザなどの選択肢があり、好きなものを選んで食べています。ほとんどのどの料理にも Chips（フライドポテト）をサイドに選ぶことができ、ここにも Fish & Chips の流れが見て取れます。中でも私のお勧めは、クロワッサンの中にハムやチーズを挟んで焼いているパンです。パニーニのクロワッサン版ですね。今週末は学生の期待するロンドンへ行きます。（中西）

